

誰もが抱える悩みをパワッと解決！

# 福田貴一先生の 福が来るアドバイス



早稲田アカデミー  
本社運営部長  
福田 貴一

## 「なぜ中学受験をするのか」と考えたことはありませんか？

合格だけがすべてではありません！

中学受験における成功とは何でしょうか？

私は、「中学受験の合格＝成功」ではないと考えています。中学受験に向けて勉強することは、「大きな目的に向かって真剣に取り組む経験」であり、「深く考え、判断していく力を身につける場」であり、そして、その後の人生において必要になる「学び力」を身につける場「だ」と思っているからです。実際、たとえ第一志望に進めなかったとしても、中学受験で身につけた力は無駄にはなりません。とはいっても、中学入試が人生において大きなイベント（目標）であることに変わりはありません。だからこそ、合格だけを追い求めるのではなく、将来を考えたいうえで「進学したい」と思える学校に挑戦してほしいと考えています。

### 2種類の「モチベーション」

一般的に中学受験に向けての勉強は小学3年生頃

と良くしたい「など」「もっと」という気持ちが生まれてきます。この思いこそが、何事にも前向きに取り組むために必要な「内的モチベーション」につながっていくのです。そして、中学受験が最終目的ではないと子ども自身が考えたとき、その先に続く道は大きく広がっていくようになります。

### 小さな「目標」を立てることが秘訣

受験勉強を続けていると、成績が伸びるときもあればどんなに努力しても結果が出ないときもあります。そのような調子の波は誰にでもあります。その波の振幅はなるべく狭めたいものです。

そのためには、まずは「目的」に向けた「目標」を設定し、次に「目標」を達成するためのさらに小

から始まるため、約4年間が準備期間になります。この期間中、入試当日がピークになるよう継続して勉強に取り組んでいくことを考えると、「モチベーション（情熱や気力）」が重要になるのは言うまでもありません。

「モチベーション」には、大きく分けて2種類あります。ひとつは自分の内面から「がんばろう」という気持ちが生じる「内的モチベーション」。もうひとつは外側からの働きかけによって生じる「外的モチベーション」です。たとえば、中学受験を自分のものとして捉え、「受かりたい」という気持ちを自分で身を持って持っている、これは「内的モチベーション」です。一方、「両親が期待しているから頑張らなさい」と、誰かからの働きかけに「応えよう」とする気持ちは「外的モチベーション」です。

どちらの「モチベーション」も受験勉強には必要ですが、「外的モチベーション」は、外からの圧力がなくなればそれで終わりです。外的圧力を継続させたとしても、子どもがその圧力、たとえば叱られることに慣れてしまえば、効果は薄れてしまいます。

小さな（細かな）「目標」を立てることが大切です。子どもたちにその小さな「目標」をクリアさせることで、成功体験を何度も繰り返し積み重ねるのです。そうすれば、子どもは自信を持ち始め、調子の波を小さくさせることができます。

ただし、注意しなければならぬことが「目標」の内容です。たとえば「テストで偏差値62を取る」ことを「目標」にする、やる気は生まれるかもしれませんが、やるべきことはわかりにくいでしょう。「漢字の間違いは一問まで」「算数の計算問題を間違えない」など具体的な内容にし、何をやれば達成できるかが分かるような「目標」にしていくのがよいでしょう。

### やる気の出るタイミングと環境

子どもは、タイミングを失うとダラダラと時間を過ぎてしまいがちです。ぜひ、子どもに合った「やる気の出るタイミング」を捉えよう。

たとえば、計算問題や一行問題、一問一答など、作業的な学習からスタートすることもひとつの方法です。できることから始めると、勉強そのものを苦に感じないようになれるのも一つの「習慣」にすることもできます。そして、何よりも大切なのが学習する場所と時間を決めることです。できれば「学習する場所」頑張りやすい「気持になれる空間」にできるような環境を整えたいものです。

このような学習習慣や環境は、小学校5年生になるまでに確立させることが大切です。子どもに合ったスタイルを確立させましょう。

### 「内的モチベーション」がカギ

自分の「目的」や「目標」に向けて「頑張りよう！」

中学受験を考えている子どもたちにとって、「入試当日は大きなイベント」です。その日のために何年もかけて準備してきたのですから、子どもたちは「成功（合格）したい」と思い、保護者の方々も「合格しますように」と願う。これは当然のことです。しかし、中学受験は人生の通過点であり、ひとつの目標に過ぎません。その先にある「夢」や「目的」を見失わないためにも「なぜ中学受験をするのか」について考えてみましょう。

そういう意味で、受験勉強においては、「内的モチベーション」が大きなカギになるのです。

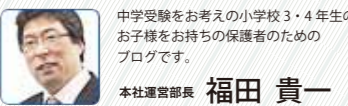
### 「目標」と「目的」は違います！

「目標」と「目的」には、違いがあると考えます。「目的」とは、人生をかけて成し遂げようとする「夢」です。そして、その「目的」を達成するための「目標」や「目当て」が「目標」です。当然のことながら、中学受験をさせることを選択した保護者の皆様は、子どもたちの未来に向けての大きな「目的」があり、中学受験はその「目的」を達成するためのひとつの「目標」と考えているはずです。しかし、子どもたちには「なぜ勉強しているの？」と聞くと、「偏差値が高い学校に入りたい」など、中学受験が「ゴール」と認識してしまっている子どもも少なくありません。だからこそ、保護者の皆様は、「将来、何になりたいの？」など、子どもたちに自分の将来の「目的」を見つけれらるよう、積極的に働きかけていただきたいと思います。そうするうちに、子どもたち「もっと成長したい」「もっと

子どもたちが思う気持ち、この「内的モチベーション」を高めるには、「褒める」ことが効果的です。その「コツ」は「その場で褒める」ことです。また、褒めるときには①結果だけでなく過程を褒める、②具体的に褒める、③理由があるときに褒める、この3点を心がけてください。つまり、「がんばったときに」「がんばったことを具体的に褒める」「これが一番です。とはいっても、子どもがどんな気持ちで「頑張りよう！」と思っているのかは、保護者の方でもわかりにくいものです。そんなときは「もっと頑張りよう！」と聞いてください。その答えから「内的モチベーション」が高いのか、「外的モチベーション」が高いのかがわかるはずです。たとえば、「前よりもできるようになったから」「や」問題が解けるとうれいから」というような、以前の自分と比較するような答えが返ってくれば、「内的モチベーション」が高いと言えます。

中学受験を乗り切るために、「内的モチベーション」を維持するともに、「自分自身の努力を信じて取り組めるよう、保護者の皆様をサポートしてあげてください。

### ブログ 四つ葉Cafe 公開中！



中学受験をお考えの小学校3・4年生のお子様をお持ちの保護者のためのブログです。

本社運営部長 福田 貴一

早稲田アカデミーホームページにて公開

中学受験に関するブログを公開しております。このブログでは、学習計画の立て方、やる気の引き出し方、テストの成績の見方、学校情報など、中学入試に関する様々な情報をお伝えします。

詳細はホームページをご確認ください。

早稲田アカデミー

検索

